

# 2021 年度の鉄鋼需要見通し

2020 年 12 月 17 日

一般社団法人 日本鉄鋼連盟

## 日本経済／2021 年度の日本経済は前年度から緩やかに回復する見通し

**2020 年度** 新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大の影響により、日本を含め世界全体で経済活動が停滞した。2019 年後半頃から、米中貿易摩擦や消費税増税の影響で経済は鈍化してきたが、2020 年に入り、感染症拡大に伴う経済活動抑制により一段と景況感が悪化した。内需をみると、消費は外出自粛もあって弱く、設備投資は企業業績の悪化や先行き不透明感から、計画の先送りや見直しといった動きも見られた。外需は、世界的な感染症拡大に伴い、主要国で経済活動が抑制されたこと等もあり減少した。

**2021 年度** 景気は前年度からの反動により持ち直しが期待されるが、伸びは緩やかなものに止まり、19 年度の水準に戻るには時間がかかるとみられる。個人消費は雇用・所得環境の悪化により、回復は鈍いものとなる。輸出は、米国の景気回復や、中国の堅調な成長にけん引され、前年を上回る。世界経済の回復に伴う外需の回復を受けて、設備投資は緩やかながらも回復する見通しである。

## 鉄鋼需給／2021 年度の鉄鋼内需は自動車部門を中心に前年度比で増加

### 2020 年度

**鉄鋼内需** 感染症拡大の影響により、鉄鋼内需は前年度比 10%を若干上回る二桁減を見込む。建設部門では、土木は堅調であった。建築は住宅部門が低水準となったほか、非住宅部門でも設備投資計画の見送り等もあり、2019 年水準を下回った。製造業では、自動車部門は生産活動が停滞したほか、機械部門は先行き不透明感の強まりによる設備投資の手控え等が影響し、不調であった。

**鉄鋼外需** 感染症拡大の影響により経済活動が抑制されるなか、世界的に鉄鋼需要は落ち込んでおり、日本の鉄鋼輸出も前年度比減となる見込みである。

**粗鋼生産** 感染症拡大による国内外での経済活動停滞等により、内外需要がともに減少し、粗鋼生産は前年度比 10%台後半の大幅な減少を見込む。

### 2021 年度

**鉄鋼内需** 前年度の大減の反動により、前年度比では増加が見込まれるものの、総じて回復ペースは緩やかと見られる。建設業では、土木部門で「防災・減災、国土強靱化のための 5 年加速化対策」に伴う鋼材需要が期待される。建築部門では、物流施設関連の倉庫需要は堅調も、鋼材需要は前年度比横ばいとなる見通しである。製造業では、自動車部門が外需を中心に回復すると見られる。機械部門は、企業の業績回復に伴い設備投資が緩やかに回復すると見られ、鋼材需要も持ち直しが期待される。

**鉄鋼外需** 前年度比では回復する見通し。IMF は 2021 年の世界経済が回復すると予測していることに加え、世界鉄鋼協会の短期需要見通しにおいても、先行き不透明感が強いなかでも中国を含む主要国の需要増加により、世界鉄鋼需要は前年比増加が見込まれていること等から、日本の鉄鋼輸出は 2020 年度を上回ると見られる。

**粗鋼生産** 2021 年度の粗鋼生産は、内外需の持ち直しを背景に前年度比では増加する見通しである。

**リスク** 感染症拡大状況、米中貿易摩擦、中国経済の動向等に引き続き注視していく必要がある。

